●ちゃーとは、沖縄方言で「ずっと」という意味、継続的なまちづくりの推進を示す。●GANJU（がんじゅう）とは、健康で頑丈を意味し、同時に「（G）元気で、（A）明るく、（N）仲良く、（J）ジンブン：知恵ある、（U）ウマンチュ：万人」の社会、まちづくりを示す。

「南城ちゃーGANJU　CITY創生戦略」の全体像

人口ビジョン

Ⅰ．人口の現状分析

○本市の人口
（住民基本台帳人口ベース）
・合併時　40,759人
（平成18年1月1日）
・最少時　40,332人
（平成20年3月末）
・現　在　42,835人
（平成27年12月末）

○自然動態、社会動態の現状
・合計特殊出生率　1.69
・かつては社会減・自然増、近年は社会増・自然減。

○社会増と子ども（幼児）人口
・2012年以降の南城市の社会増の中心は、若い世代と子ども。特に、5歳未満の幼児の社会増は、周辺市町と比べても圧倒的に多い。
・5歳未満の幼児の社会増（純増）数は、年間150人前後。

○直近の人口動向
・社人研の予測は2010年国勢調査までのトレンドをベースにしていることから、2012年以降の南城市の急激な社会増は反映されず、すでに現状とのかい離が大きいため、将来人口予測は、近年の現状を反映する必要がある。

Ⅱ．人口の将来展望

1．合計特殊出生率
・国と同じ算定式により、本市将来合計特殊出生率を、
「2055年＝2.10」
と予測、目標設定した。

2．将来展望（2040年）
・前述の理由から、2040年における人口の将来目標を次のとおり設定する。
・人口の将来目標
「50,000人」

総合戦略（2015～2019年度の5年間）

基本目標

該当分野　「しごと」
キーワード「就労機会の拡充」

地域資源を活用し、自立可能な就労の場を創り出す

＜数値目標＞
○市全体の就業者数：
5年間で　800人増加
○平均所得水準：
5年間で　266千円向上

該当分野　「ひと」
キーワード「交流の促進」

まちに活気を与える出会いと交流を促進するとともに、南城市の魅力を広く発信する

＜数値目標＞
○市全体の転入者数：
5年間で　1200人増加
○市全体の転出者数：
5年後も　現状を維持

該当分野　「まち・コミュニティ」
キーワード「地域コミュニティの拡充」

あらゆる世代が活き活きと暮らせるまちを、コミュニティ全体で支えあう

＜数値目標＞
○15歳未満の子ども人口：
5年間で　250人増加（3%増）
○30代・40代(働き盛り層)人口：
5年間で　300人増加（3%増）

該当分野　「まち・社会基盤」
キーワード「安全安心で快適なくらし」

安全安心で快適なくらしが生み出す地域の「誇り」を、市民全員が分かちあう

＜数値目標＞
○デマンド交通利用登録者数：
5年間で　2400人増加
○先導的都市拠点（全体）
創出ﾋﾞｼﾞｮﾝ策定：
平成30年度までに策定

基本的方向

～「やりがいのある農水産業、もうかる農水産業」の実現　～
農水産業は本市の基盤産業であり、6次産業化や経営基盤の強化などに取り組み、「やりがいのある農水産業、もうかる農水産業」を実現し、働く場としての魅力を高める。

～　地域資源活用で「非日常」「新鮮な感動」創出へ　～
本市観光業における弱点の克服と利点の拡充によって、県内他市町村とは差別化され、かつ沖縄観光に新たな魅力要素を付加する「南城ツーリズム」の育成と展開に取り組む。

～　空き庁舎から始まるストーリー　～
市内の遊休施設・遊休地を活用した企業誘致に努めると同時に、地域企業の事業拡大支援、新規創業・起業の支援、雇用サポートの拡充に取り組み、これらを通じて新たな雇用の場の創出を図る。

～　TPP等を踏まえた、国内外展開と新産業創出への挑戦　～
巨大市場をを生み出すTPPを絶好のチャンスと捉え、本県の地理的条件やANA沖縄貨物ハブを活かした南城産品の国内外への販路拡大、県や関係市町村、民間事業者との連携を図り、未活用資源（水溶性天然ガス・温泉など）の多分野活用による新産業創出にチャレンジする。

～「市民大学」「地域デザインセンター」を活用した人材育成　～
まちづくり部門、産業部門、教育部門を包括した人材、とくにリーダーの育成を図り、将来にわたって本市を支える人的資源の育成に取り組む。

～「ハートのまち❤南城」ファンの育成　～
国内・国際にわたる幅広い人的交流を促進し、観光客の拡大、U、I、Jターンの促進、国際的なビジネス交流の促進等に資する基盤の確立を図る。

～「シュガーホール」「ムラヤー」を拠点とした教育・文化の展開　～
本市におけるコミュニティの維持・醸成の核として存在する伝統文化保存の場の具体化を図る。

～　三世代同近居やUターンがささえる未来　～
三世代同近居の促進を通じて、本市の魅力の源泉であるコミュニティ強化の基盤づくりを図るとともに、南部東道路整備を見据えたU、I、Jターン者の適性誘導・適正配置及び人口減少地域における定住の受け皿づくりにより、市域全体の底上げを目指す。

～「安心安全な地域づくりを」の声にこたえて　～
ムラヤーの機能再生を通じ、地域コミュニティをベースとした生活利便性・生活向上性を、買物、健康生活、福祉等の諸領域にわたり総合的に拡充し、地域コミュニティ活動の維持・促進を図る。

～「神々が見守る大地でロマンあふれる子育てを！」～
とくに子育て分野においては、コミュニティパワーのフル活用を基本とする、地域に根差した子育て支援体制の拡充に取り組み、本市の豊かな自然環境の中で安心して子どもを産み育てることができる地域社会の醸成を図る。

～　大規模公共駐車場によって生まれ変わる公共交通体系　～
那覇空港自動車道等と接続する地域高規格道路「南部東道路」の整備と併せ、本市中央部の先導的都市拠点において大規模公共駐車場を整備し、デマンドバス「おでかけなんじぃ」と路線バス等が一体となった公共交通ネットワークの構築により、市内及び那覇等への通勤・通学の公共交通の利便性向上を図る。

～「海と緑と光あふれる南城市」の実現に向けて　～
先導的都市拠点の創出により、本市において不足している機能の導入・再配置を行う。またこれと同時に、企業誘致を含む産業の活性化、人口の移住・定住の促進、市内各地区の特性に応じた発展に資する基本インフラの整備水準の向上を図り、将来にわたる成長の基盤を整え、生活利便性の向上を図る。

～　災害に強いまちづくり　～
台風常襲地であることに対応した、災害時でも安心安全なまちづくりを具体化し、さらにその取り組み体制の応用展開を通じた、震災・津波時の安全性の向上や、観光客の台風時対応の向上を図る。

～　前例踏襲や既成概念を取り払う「聖域なき見直し」へ　～
本戦略展開のベースとなる財政基盤の強化を、人口増、雇用増、産業活性化による歳入増あるいは事業の効率化による歳出減だけでなく、より直接的な歳入の増加・歳出の減少に取り組むことを通じて確保する。

重要業績評価指標（KPI）

新規就農者数　25人（5年間）
経営多角化に新たに取組む事業者数
4事業者（5年間）

観光入込客数　320万人（5年後）

新規創業者数　20事業者
（5カ年分の累計）
新規参入事業者数　5事業者
（5カ年分の累計）

南城セレクション新規認定商品数
25件（5カ年分の累計）

人材育成講座卒業生　75人
（5カ年分の累計）

海外との相互交流人数　100人
（5カ年分の累計）

県立芸大との連携実施数　10件
（5カ年分の累計）

三世代同近居支援制度の創設
（平成29年度までに）

コミュニティ活動団体（青年会・女性会等含む）の復活件数　10件
（5カ年分の累計）

出生数　520人（5年後）

地域公共交通再編実施計画の策定
（平成30年度までに）

先導的都市拠点の
中核地(ｼﾋﾞｯｸ・交流ｿﾞｰﾝ)の整備完了
（5年後）

自主防災組織の設置数
30か所　（5年後）

5年以内で市有財産(土地)
3件以上売却

物件費1%抑制（H26決算ﾍﾞｰｽ）

具体的施策

（ア）農水産業の成長産業化
①産地づくり・生産性の向上
②成長産業化・6次産業化

（イ）観光振興・MICE対応
①ﾎﾃﾙ等宿泊施設の誘致促進、ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ観光受入機能の拡充・MICEとの連携（主にﾊｰﾄﾞ整備）
②観光ｿﾞｰﾆﾝｸﾞやﾙｰﾄなどのﾀｰｹﾞｯﾄ・ｺﾝﾃﾝﾂ戦略の展開、MICE連携で新たな魅力の確立（主にｿﾌﾄ）　など

（ウ）新たな雇用の場の創出
①未利用公共施設、遊休地への企業誘致
②新たな創業・起業支援及び需給の仲介等による雇用サポート強化

（エ）国内外展開・新産業の育成
①地理的条件、ANA貨物ハブを活用した地産品販路拡大、6次産業化推進
②温泉、かん水、熱、エネルギーを観光、農業、製造業等における多分野活用による新産業の創出・育成の推進

（ア）人材育成
リーダー養成を中心に、幅広い分野の人材育成と活動しやすい仕組みづくり

（イ）国内・国際交流の促進
①「なんじぃ」「尚巴志」等本市の魅了訴求、愛着ファン育成
②南城市らしいｳｪﾃﾞｨﾝｸﾞ普及、市民婚活ｻﾎﾟｰﾄ、ふるさと納税への寄付喚起

（ウ）教育・文化
シュガーホールと県立芸大連携、ムラヤーと各集落取組の二本柱による伝統文化の継承、地域文化の基盤づくり　など

（ア）移住・定住の促進
①三世代同近居の促進を図る支援制度を検討する。
②空き家・住宅情報一元化⇒U・I・Jﾀｰﾝ、人口の適正配置を促す取組具現化
③手助け、見守り等の地域単位で事業化するｺﾐｭﾆﾃｨ・ｿｰｼｬﾙﾋﾞｼﾞﾈｽの普及　など

（イ）コミュニティ基盤の強化
①生活利便性・生活環境を高めるコミュニティをベースにした市民生活の拡充
②自治会加入促進の支援、コミュニティ活動の充実強化

（ウ）子育て支援
①地域コミュニティによる子育て支援力の具体化と強化
②認定こども園の導入検討、子育て環境に資する公園や広場等の機能集約

（ア）公共交通体系
①中核地（公共駐車場）の様々な利用を通じた那覇等への交通利便性向上
②ﾃﾞﾏﾝﾄﾞﾊﾞｽ運行充実、交通弱者対策、市外高校等への通学利便性の向上

（イ）成長基盤の整備
①各地区相互役割分担の具体化、拠点と集落間の連携強化（都市拠点形成）
②市の成長を下支えする下水道等の適正な整備・再編
③「結い（ハート）の心」でつなぐ、光あふれるICT社会実現のための気軽にアクセスでき、災害時にも切れない地域情報通信網の拡充

（ウ）防災対策
①地震、津波等の大規模災害にも対応可能な安心安全なまちづくり
②台風来襲時の市民や観光客に対する災害対策

（エ）財政基盤の強化
①公共施設の活用（税収拡大、歳出削減）
②医療費の抑制・削減等（歳出削減）、
　地域産業振興と一本化した新規税収の拡充（歳入増）等
③従来の枠を超えた財政基盤強化